

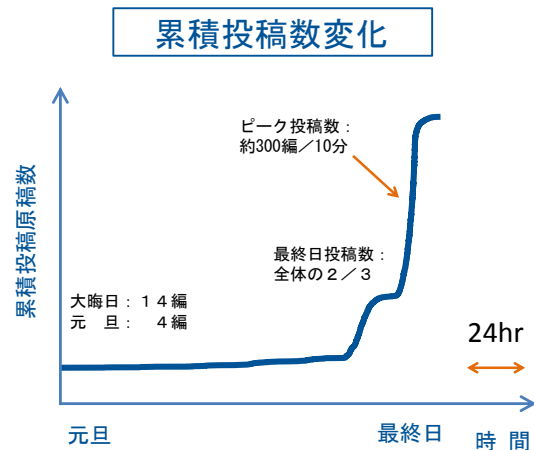
2014 年応用物理学会春季講演会企画にあたって（番外編）

講演会企画運営委員長 益 一哉

今回の「番外編」は CD や印刷物プログラムに間に合いませんでした。WEB 版のみでご容赦ください。今回も発表者の皆様の投稿行動をご紹介したいと思います。

投稿総数は約 3,600 編でした。締切は 1 月 7 日（火） 17 時でした。丁度一年前の講演会では締切を 1 月 7 日（月） 17 時としたために、正月明け早々ということで投稿者の方々が大変ご苦労したとのご指摘をいただきました。そこで、今回は正月明け早々の月曜日ではなく火曜日にいたしました。さて、累積投稿数は下記の図に示すとおりです。前回（秋季・同志社大学）同様、最終日に全体投稿数の 2/3 程度が投稿されました。また、締切前のピーク時の投稿レートは約 300 件/10 分であり、前回と同様でした。図には現れていませんが、今回はいくつかの変化がありました。

- (1) 締切後の投稿：投稿締切は 17 時です。受付サーバーは 17 時ジャストで終了にはなっていません。これは、終了間際に投稿が集中し、サーバー処理が間に合わないと言った事態に対応するため、決して締切過ぎても受け付けている message ではありません。前回に比較して、投稿締切後の投稿数はかなり減少しました。投稿者皆様のご協力に深く感謝いたします。次回以降も、締切前の投稿にご協力いただけますと幸いです。学会側は次の事務



処理を速やかに進めることができるメリットがありますが、投稿者の方々も余裕をもって準備することにより、より良い原稿になるというメリットもあると思います。

- (2) 締切後の電話：毎回締切 17 時直後に事務局に電話がかかってきます。「今、投稿したのですが、17 時を回ってしまいました。受け付けていただけるのでしょうか？」これについては、応用物理学会 facebook にて紹介させていただきました。「問い合わせいただいても、何千件もある投稿から、今投稿されたか否かを確認することは、したくてもできないことです。お問い合わせはご遠慮いただきたい」との message を出しました。1400 名を超える方がこの message を見たようです。そのおかげで締切後の問い合わせ電話はありませんでした。ご協力ありがとうございます。

講演会は 3 月 17 日（月）から始まります。最近、大学からの講演比率が高くなっており、若い学生の元気ある発表は気持ちのよいものです。ただ、最近の学生の方の発表には、「結論」がないことが気になっております。自分の行った研究を世に問うわけですから、成果の意義を述べることは必要です。自分の成果は一体何なのかを述べるのが結論です。是非とも、自らの言葉で主張してみてください。主張するといろいろなコメントをもらえると思います。厳しいコメントもあるかもしれません。しかし、その厳しい一言が次へつながります。

講演会に関しては、プログラムアプリを充実させるとともに、facebook、twitter を利用して情報発信しております。ご覧いただけますと幸いです。